

# 森工房

森仁志氏追悼  
ATELIER  
MORI

# 「大版画」の全貌展

会期／平成27年1月24日(土)～2月15日(日)

9:00～17:00 (入館は16:30まで)

※休館日：火曜日

会場／上田市立美術館

(上田市天神3-15-15)

入場料

一般500円(団体400円)

大学・専門学校生300円(団体200円)

高校生以下無料

障害者・介助者150円(団体100円)

(本展の入場券で常設展もご覧いただけます)



岡本太郎  
(90) 1963年  
「大版」の紙



特大ルーラーでインキを盛る森氏



構図を決める池田満寿夫



版を描くカトラン



岡本太郎と森氏

平成24年に森仁志氏から上田市へ寄贈された「大版画」全作品を特別公開  
さらに大版画制作の原点となった「カルナック巨石群」を描いた森氏の作品も同時公開

主催：上田市、上田市教育委員会  
協力：信州版画協会  
長野県地域発元気づくり支援金活用事業





展示作品：森仁志・油彩「石の記憶」、リトグラフ「カルナック冬の旅」ほか  
池田満寿夫・リトグラフ「宗達讃歌(天)」など14作家全38点

# 森工房 森仁志氏追悼 ATELIER MORI 「大版画」の全貌展

本年6月、惜しまれつつ60有余年の生涯を閉じられた上田市出身の森仁志氏は、リトグラフ(石版画)制作アトリエ「森工房」を主宰され、世界最大級の版画を制作する技術を確立し、この分野に大きな足跡を残されました。1.25×2.5mという世界最大のプレス機を設置し、池田満寿夫、岡本太郎、東山魁夷、カシニョール、カトラン、ブラジリエといった国内外の著名作家の訪問を受け、ともに最大級のリトグラフ作品を創出しました。浮世絵版画以来、わが国は世界に冠たる版画大国として注目され続け、上田の郷土作家・山本鼎の提唱した「創作版画」も、そして、森工房の壮大なリトグラフもまた日本の文化力を象徴するものであります。本展は、平成24年に森氏から上田市へ寄贈された「大版画」全作品を公開するとともに、同氏にとって大版画制作の原点となった「カルナック巨石群」を後年に描いた自身の作品も同時公開します。



岡本太郎  
《黒い太陽》1980年  
リトグラフ・紙



東山魁夷  
《緑の詩》1997年  
リトグラフ・紙



森仁志  
《石の記憶》2006年  
油彩・カンヴァス



池田満寿夫  
《宗達讃歌(天)》1985年  
リトグラフ・紙



ジャン・ピエール・カシニョール  
《午後の森》1988年  
リトグラフ・紙



ジャン・ピエール・カシニョール  
《午後の森》1988年  
リトグラフ・紙



ベルナル・カトラン  
《大きな黄と黒の静物》1990年  
リトグラフ・紙

## 関連イベント

- ・オープニングトーク(ゲスト:魚津章夫氏、版画研究者)  
1月24日(土) 13:30~14:30 美術館2階ホワイエ
- ・リトグラフワークショップ(講師:沖浦卓夫氏、国画会会員)  
2月7日(土) 10:00~16:00 多目的ルーム
- ・ギャラリーコンサート(演奏者:神谷未穂、ヴァイオリニスト)  
2月11日(水・祝) 14:00~15:00 企画展示室

〇お問い合わせ



**上田市立美術館**

長野県上田市天神3-15-15 TEL.0268-27-2300  
<http://www.city.ueda.nagano.jp/hp/artmuseum/>

- 〇上信越自動車「上田菅平IC」から車で約15分
- 〇長野新幹線「上田駅」から徒歩約7分

